

～ひきこもり整体師のひとりごと～

令和6年11月第36回

自己紹介:楠永洋介

小学校3～4年を不登校、次いで中学校1年2学期～2年生を不登校、義務教育期間中は正味5年程しか登校していません。定時制高校を卒業後、進学、卒業を拒否して祖父の遺したお金でネットスクールや、ワークショップ、FXなどを経験してお金を溶かしました。なんやかんやあって結婚後、2人の子供を授かる。現在、農業、整体業、塾講師等で生計を立てる。

皆様お久しぶりです。楠永です。先月は校了すっぽかしてすみませんでした。今月のひとりごと始めていきます。

忙しい

最近なんだかんだと用事が立て込み、慌ただしい日々を送っています。太刀踊り、西畑人形、八代農村歌舞伎等。ゆっくり出来るのは年末までお預けのようです。今月も徒然に書いて、話すことが無くなったなら、そこでお仕舞にしようと思います。

結局、誰かを指差して放った言葉はブーメランとなって自分に返ってきて、そして呪いとなって自分を縛るのでしょうか。「勉強しなさい」という言葉を勉強しない人間がどれだけ言おうと誰かの心を動かす事はないでしょう。ならば、先ず自分が勉強の楽しさ、愉快さを見せなければならぬ。嫌なことを人はしません。興味関心によってのみ人は自発的に行動します。

『嫌嫌勉強を続けた人の「勉強しなさい」は「嫌な事を我慢してでもやれ」という以上の意味を持ちません。そうして言った本人はますます「勉強は嫌な事だ」という呪いを自分自身にかけていくのです。』

これは真実ではありませんが、僕が僕にかけた呪いであります。呪いから逃げおおせて生きる事はなかなか難しい。ならばはじめから自分に呪いをかける方がずっと合理的なのです。布教の義務も無いです。ただ僕が世界をそう認識しているだけと言い換えてもいいでしょう。しかし僕にはこれが真実に見えるのは大きなメリットです。

親の背中を見せるという言葉もありますが、親一人の背中など、世界の広さに比べればなんと小さい事でしょう。それなら自分の子供には多くの人に出会って欲しい。多くの人から僕にはない感性で、何かを感じてほしい。

今まで聞いてきた悩みの多くの根源はその人の世界の認識に拠るものが全てでした、だから僕は人の悩みを聞いても「貴方はそういう風に世界を捉えているんですね」という感想しかない。その方の小さい世界の中でバグや齟齬等の問題が生じそれを矯正しようとか、解釈しよう頑張っていて疲れ果てています。『親が変われば、子が変わる』という言葉は永らく多く人の命題となっていたと思いますが、ここで『親の世界が広がれば、子の世界が広がる』と言う言葉に変えて頂きたいなと思います。『世界』を広げる方法はたった1つ。『新しいモノに出逢う事』。それだけです。その道程の標になるのは自らの『興味関心』だけ。簡単でしょうか？

どうか皆様におかれましても、ご自身をお大事にさせていただけることをお祈り申し上げます。

楠永

ちょっと前に撮った写真



御案内

感想、質問頂けると励みになります。また仕事の依頼（整体等）頂けると生きる糧になります。整体に関してはホームページ等覗いて見てください。

緑陰整体指導研究室

ホームページ

<https://ryokuinseitai.business.site/>

ご意見、ご感想、ご依頼は下記にお願いいたします。

電話番号

090-4979-6409

メールアドレス

ryokuin.seitai@gmail.com